



だっこ通信

第17号

2021. 12月発行



だ いじょうぶ・ つ ながる・ こ そだて



あるある話「親の思い、子どもに届いてる？」

子どもが健やかに成長するために必要な **柱**



食べること
(栄養)



体を動かすこと
(遊びや運動)



眠ること
(休養)



愛されていると実感できていること



「愛されていると実感できていること」とは、親が思っているだけでなく、子ども自身が「愛されていると感じていること」がポイントです。子どもは親の思うようにはなかなか動いてくれませんし、理想とするような成長が見られないこともあります。だからこそ、目の前にいる我が子に向き合い、丸ごと受け止めていくという覚悟が親には必要なのです。こまめに声をかける、優しくあやす、ぎゅうっと抱きしめるなど、言葉や態度で「愛してるよ～」の思いを繰り返し繰り返し伝えていきましょう。

★本日のお題

愛されていると実感できていることが大切

子どもの成長には上の4つの柱が欠かせません。どの柱も大切ですが、特に「親から愛されていると実感できている子」は、自己肯定感や未来を力強く生きようとする力が高まっていきます。乳児期はまだ言葉でのやり取りが難しいかもしれませんが、抱っこしてもらったときの肌の温もりや笑顔から愛情を感じています。幼児期になると、抱っこだけでなく、親の表情や態度、発する言葉からも敏感に感じ取るようになります。「愛しているよ」という親の思いがしっかり届いてこそ、子どもは愛されていることを実感できるのです。



発行者: さくら市生涯学習課(担当 鈴木)